

巨福寺だより

第13号 平成30年 正月

発行者：日蓮宗 素南山 巨福寺

瑞 祥 新 春

☆ 楢 林 鬼 子 母 神 堂 ☆

楢林鬼子母神堂とは、現高梁市上谷町より登った山間の清らかな滝の流れる地に、仏道修行の感得を見出し、大正12年、巨福寺檀越であった野村日関氏と三村忠二郎氏が発起人となり、この地に堂宇を建立したのが始まりであります。爾来、法華経の行者を守護する鬼行鬼子母神と子安鬼子母神の二体を勧請し、戦前・中・後の激動の時代にも、滝行をするなど多くの法華経信仰を集めて来ました。

以降、平成15年には巨福寺檀信徒篤信者により、當堂の改築も成し遂げましたが、近年参道の崩落などにより、當堂の維持管理が困難となり、この度12月3日大掃除～8日にかけて御神体二体を巨福寺御宝前に遷座致しました。



出家・得度 ～ 戸井出琉(すいりゅう)上人 誕生

昨年5月19日、新たに日蓮宗教師(僧侶)が誕生致しました。それは
仏門を志し、平成24年11月、仏縁あっては巨福寺において54歳にて
出家・得度の仏の授戒を受けて、巨福寺徒弟となりました「戸井出琉上
人」です。戸井上人は得度依頼、従来勤務の電通東京本社において、営
業局長の重責を担いながら仏道修行に勤しみ、日蓮宗で定められた数々
の修行過程をこなし、最後の登竜門「日蓮宗・信行道場」(35日間の苦修
錬行)を晴れて修了し、日蓮宗教師となりました。その後戸井上人は
故郷の栃木県矢板市大槻において、自らの修行・布教の道場「琉游舎」を
建立し、地域の布教拠点として、仏様に導かれし信仰の場としてはもち
ろん、地域の憩いの場として、信徒教化にご活躍されております。



巨福寺恒例お月見会

昨年も巨福寺恒例のお月見の宴が10月6日の夜に行われました。
今回はお月様そのものは綺麗に拝めませんでした、初めて参加の
方や若い方、そのお子様なども多数ご参加くださりまして、いつも
以上にたくさんの笑顔が溢れ、賑やかに行われました。



左:2歳間近の樹里ちゃんです

今後の行事予定

- ・1月15日(14時)お焚き上げ
- ・1月28日(14時)節分会(福引)
- ・2月15日(14時)釈尊涅槃会
- ・3月18～24日 春のお彼岸
- ・4月29日(10時)花まつり・総会